

ふかだ  
深田遺跡第2次・双ツ塚西方遺跡

所在地：鈴鹿市東玉垣町 地内

調査期間：平成30年10月15日から平成30年12月21日（予定）

調査面積：1,000㎡（予定）

**深田遺跡の調査が始まりました**  
**～古墳の周濠から埴輪がざくざく出土中！！～**

深田遺跡は、金沢川右岸の標高約6mの沖積地に立地します。昭和53年に行われた調査では、弥生時代後期後半を中心とする集落跡があったことがわかりました。

深田遺跡の東側には、古墳時代の集落遺跡である双ツ塚西方遺跡、南東約1.5kmの岸岡山には、全長50m前後の前方後円墳3基を含む岸岡山古墳群が所在します。

農地整備に伴い10月中旬から始まった調査ですが、早速、多量の埴輪片や須恵器が溝から出土しています。この溝は5世紀後半の古墳の周濠と考えられ、その規模や形は現在検討中です。埴輪は円筒埴輪だけでなく、家形埴輪、人物埴輪、馬形埴輪といった様々な形のものが見つかっています。

深田遺跡に引き続き、双ツ塚西方遺跡の調査も行っていく予定です。今後の調査に、目が離せません！

<問い合わせ先>

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター調査研究1課 担当者：穂積・中井

電話：0596-52-1732

FAX：0596-52-7035

